

6月の野菜の見通し

平成30年5月31日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	8,071	前年並	8,066	109	92%	89	-	-	<p>【入荷見通し】 千葉産は前進傾向で切り上がりが早い見込み。上・中旬は出回りが少なく相場は上昇が予想される。後続の青森産は1週間程度の遅れが見られ、下旬には数量まとまることで相場は落ち着くだろう。</p> <p>【価格見通し】 見通し単価は前年よりやや安も平年よりは高い水準。</p>
キャベツ	15,325	多い	15,325	78	90%	76	-	-	<p>【入荷見通し】 全国的に前進傾向が見られ、千葉・茨城産は切り上がりが早い見込みだが、後続の群馬・岩手産のスタートも早くなる予想。</p> <p>【価格見通し】 上旬は群馬産の始まりで単価は底上げ、それ以降は保合いで推移となる。見通し単価は前年・平年比でやや安。</p>
ねぎ	3,730	前年並	3,832	414	101%	399	3	0.1%	<p>【入荷見通し】 茨城・千葉産ともに順調な出荷を見込む。</p> <p>【価格見通し】 5月下旬はそれまでの単価高の反動と数量増で相場が下がるが、6月上旬に底上げをした後は保合いで推移する予想。梅雨の影響で2~3日降雨が続くと入荷が鈍り、相場が上昇することも考えられる。見通し単価は前年並みで平年より若干高。</p>
きゅうり	7,569	前年並	7,314	257	101%	257	118	1.6%	<p>【入荷見通し】 関東産は前進気味で早い切り上がりとなり、特に加温タイプでその傾向が強い。田植え作業も重なることで出回り数量は前年より少なくなる見込み。</p> <p>【価格見通し】 後続の東北産が増えるまでの中・下旬は端境となり相場の上昇が予想される。見通し単価は前年・平年と同水準。</p>
トマト	8,788	前年並	9,266	306	95%	276	153	1.7%	<p>【入荷見通し】 総体では平年並みの数量の見込み。</p> <p>【価格見通し】 西南暖地産が中旬には切り上がるために相場は上げ気配が強まるものの、下旬には東北・北海道産が出回り始め落ち着きを見せるだろう。見通し単価は少なめだった前年と比べ若干安いだが、平年比では僅かに高い。</p>

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の入荷量と価格の見通し」(関東農政局)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)